

逆行性心筋保護におけるカニューレ留置困難の原因解明と対応策の検討

1. 研究の対象

2013 年 4 月～2018 年 3 月、2023 年 4 月～2025 年 3 月に高知大学医学部附属病院で心臓手術を受けた方

2. 研究目的・方法

心臓を手術するときには、いったん心臓を停止して悪い箇所を治し、再び拍動させるという手順を取りますが、止めた心臓が元のようにしっかり機能するため「心筋保護法」という方法を使います。タイトルにある「逆行性心筋保護」は、心臓を安全に停止させるために使う心筋保護液を流す方法の一つですが、液を流すために使うカニューレ（管）を挿入するのがうまくいかないことがあります。何とか入れようとがんばると、カニューレを入れる冠静脈洞という血管を破ってしまいかねません。この合併症を防ぐため、私たちは経食道心エコー（TEE）という方法を使いそれを広めてきましたが、それでもなおこの問題は解決していません。うまく入らない方では、うまくいく人と何が違うのか、どうやればうまく入るのかといった疑問は、まだ解決されないままです。

そこで、この研究では TEE を使って挿入をガイドしてきた記録を振り返って詳しく検討し、うまく入らない理由を明らかにするとともに、CT 画像の中にそのヒントが隠されていないかを画像解析して検討しようと考えています。さらに、その結果を踏まえ、このトラブルを防ぐ方法を確立してそれを多くの施設でも使っていただきたいと願っています。

研究期間は、倫理委員会承認日～2026 年 3 月 31 日までですが、データを利用する予定日は 2025 年 8 月 1 日からです。

3. 研究に用いる情報の種類

検討に用いるのは、電子カルテに保存されている年齢、性別、その他の身体情報の他手術の種類、CT 画像データ、TEE でガイドしたときの画像で、いずれも個人を特定されない形で検討を行います。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

高知大学医学部 連繋医工学分野 渡橋和政（研究責任者）

[TEL] 088-888-2022 [e-mail] orihashik@kochi-u.ac.jp